

第 39 回福島問題研究会議事録(ダイジェスト版)

1. 日時 2019 年 3 月 5 日(火) 14:30-17:00
2. 場所 化学工学会 応接室
3. 出席者 小林、鈴木、伊達、戸井田、中尾、松井、松田 横堀、橋本(文責)
4. 議事内容

4.1 前回議事録(第 38 回2/4)確認

前回議事録 4.3 (1) 2)項で、「海洋投棄の方が合理的」とあるが、これに次の文章を付け加える。「実際には風評の観点から海洋投棄は主流にはなっていない。第 12 回多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会で新しい見解が出されるかどうか？」

4.2 関連情報紹介

・東電2F 見学会: 橋本が東電福島廃炉技術開発推進室阿久津室長と見学日 5 月 13 日、20 日、24 日および交通手段について相談中。

・講演会等(下記講演会等が横堀殿から紹介された。)

- 1) 3/3(土) @ 慈恵医大/NPO 放射線教育フォーラム; 「意見交換会: 東日本大震災から8年を迎えるにあたって」
- 2) 3/13(水) @ かながわサイエンスパーク/ 県立産業技術総合研究所教育講座; 「廃炉の途上で」 along the way～何を見、何をしてきたか。横堀、橋本が出席予定。
- 3) 3/15(金) @ 芝浦工大/ 化学工学会第 84 年会でのシンポジウム「福島復興と廃炉技術の現状と課題」。小林、中尾、横堀、伊達、牛尾、松井、橋本が出席予定。
- 4) 3/19(火) NPO 法人環境ベテランズファーム主催セミナー「福島第一原発の廃炉技術とロボット; 講師 IRID 新井副理事長」@ 田町
- 5) 3/24(日) @ 慶應大学/NPO 放射線安全フォーラム; 「よい放射線とわるい放射線」- それってなに -
- 6) 3/25(月) @ 化学工学会「福島復興・廃炉技術研究会」@ 化学工学会会議室。

・参考情報(横堀殿からの紹介)

1) Preliminary Summary Report

「IAEA INTERNATIONAL PEER REVIEW MISSION ON MID-AND-LONG-TERM ROADMAP TOWARDS THE DECOMMISSIONING OF TEPCO'S FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION UNITS 1-4」、5-13 November 2018

2) 第 11 回 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会 議事録(H30.11.30)

4.3 福島第一廃炉全体俯瞰マップについての意見交換

鈴木マップでの最初の中間エンドステートステップ(一時保管、廃棄物対策、汚染水対策)について、それらが二次廃棄物を経て二次保管から最終処分に至るが、その殆どがスラッジおよび固体の処分になるのではないかとの見解が前回橋本から出された。このステップ以降のどの段階においても

エンドステートに必要とされるのは固体処分であり、水として残るのはトリチウム水である。鈴木教授の言われる「出口から考える」とき、化学工学的操作としては、固体処分技術を中心としたシステム構築に行き着くのではないか。化学工学会が昨年9月に出した提言を、この観点から深化させることはできないだろうか？

4.4 化学工学会年会シンポジウム(3/15)への対応を考慮しつつの議論。

- 1)トリチウム水の処理につき、化学工学的に実現可能な提案が出来るか？
- 2)トリチウム水を使って何か試験が出来るか？
- 3)希釈放水は、技術的に何か問題はあるか？
- 4)大量の汚染水発生を抑えるための「デブリの間接熱交換方式」はないか？
- 5) ジオポリマーの使い方;圧力容器の開口部の止水、流入地下水の止水等に有効か？

4.5 次回

日時:4月22日(月)14:30～

場所:化学工学会会議室の予定(変更時は連絡)

以上